

宝塚歌劇団は 1 世紀以上に渡り日本で西洋式のミュージカルやレビューを上演してきました。その公演のスタイルはミュージカル、フランスのキャバレー、ラインダンスのミックスが混ざっておりで、精巧に振り付けられ、衣装はきらびやかで羽根をあしらった豪華なものです。宝塚歌劇団のファン層は厚く熱心で、日本中にまたがっており、その観客の多くは女性です。

阪急電鉄の創業者であり社長であった小林一三は、1913 年に、兵庫県宝塚への観光客を増やすため、全員女性による歌唱グループ、宝塚唱歌隊を設立しました。1914 年 4 月 1 日、同グループは、男性のみで行われる能や歌舞伎とは対照的に、全員女性によるキャストで初公演を行いました。彼らはのちの 1918 年に東京で初公演を行い大きく称賛されました。1919 年、小林は現在の宝塚音楽学校である宝塚音楽歌劇学校を設立しました。宝塚歌劇に出演することを夢見る 15 歳から 18 歳の女子は学校に入るためにオーディションを受け、その後舞台に立つまでに何年も厳しい訓練を受けることになります。

1924 年に兵庫県宝塚に宝塚大劇場がオープンし、そして 1934 年 1 月 1 日には東京宝塚劇場が日比谷に誕生しました。東京宝塚劇場が開場するまで、公演はすべて帝国劇場や歌舞伎座等の会場を借りて行われていました。この劇場の開場は大きな一里塚となり、その後のすべての公演の劇場となりました。現在に至るまで両宝塚劇場は多くの観客を動員し続けています。第二次世界大戦後、東京宝塚劇場はアーニー・パイル劇場と改称され、連合国の管理下に置かれました。1955 年に名前やグループ、ステージを元に取り戻すまで、貸劇場で公演をしなければならませんでした。旧建物は 1998 年に老朽化のため取り壊されました。現在の建物は 2001 年に開場しました。

東京宝塚劇場は赤い絨毯ときらびやかなシャンデリアで壮大な雰囲気があり、日本の劇場のアイコン的存在です。ホールは 2,065 席を擁し、どの席に座っても観劇を楽しめるよう設計されています。舞台は兵庫の宝塚大劇場と同じ造作がなされています。公演は宝塚大劇場で初演が行なわれた約 2 週間後ここで上演されます。ミュージカル、歌劇、演劇が一日 1、2 回、満員の観客に向けて上演されます。宝塚の作品の多くが西洋の古典的なミュージカルやオペラ、演劇、小説、映画等を脚色したものです。他にも少女漫画や日本の昔話を題材にしているものがあります。

創意工夫がみられ夢のようなパフォーマンスであることから、公演はすぐに売り切れてしまいます。劇場は東京の観劇エリアである日比谷の中心、帝国ホテルのすぐ隣にあります。日比谷駅から徒歩 5 分です。

